

広報おおつのリニューアルについて

令和5年6月27日
政策調整部 広報課

目次

- (1) 広報おおつの概要 3頁
- (2) 広報おおつを取り巻く状況 6頁
- (3) 広報おおつアンケート結果・検証 7頁
- (4) 広報おおつのリニューアル（案） 19頁

(1) 広報おおつの概要

- ▼ **創刊** 昭和25年（1950年）4月
（2023年6/15号で1,453号目）
- ▼ **発行** 年間22回
（毎月1・15日発行。1月・8月は1日号のみ）
※1回当たり113,100部（月によって変動）
- ▼ **規格** A 4判全16頁：8頁フルカラー、8頁2色
※2003年8/1号より、
タブロイド判からA4判に規格変更
- ▼ **配布先・配布方法**
宅配業者から各自治会へ配布
各自治会から各世帯へ配布
※昭和25年創刊以来、自治会を通じて配布
※その他、公共機関、郵便局、駅、
コンビニ等に配布



1966年10/1号



タブロイド判からA4判に規格変更
（2003年8/1号）

(1) 広報おおつの概要

▼令和5年度予算 印刷費：62,385千円
運搬費：11,904千円

▼障害者向け広報おおつ

点字版広報おおつ	12回／年（約80部／回）
声の広報おおつ（カセットテープ）	22回／年（約40部／回）
声の広報おおつ（デイジー版CD）	22回／年（約55部／回）

※デイジー：デジタル録音図書

▼その他 広報紙の配布以外に、市ホームページ掲載、メール配信サービス、各種SNS、地上デジタル放送によるデータ放送、スマートフォンアプリによる情報発信



データ放送



アプリ



広報おおつ（点字版、カセット、CD）

(1) 広報おおつの概要

▼ 広報おおつの編集方針

タイムリーな市政情報を広く市民に提供するため、紙面には市政に関する情報を始め、各種催しやイベント情報、市民や地域話題を掲載。また観光、健康・子育て、防犯・防災などをテーマとした特集記事を掲載しており、市民ニーズに寄り添った情報発信に努めている。

1日号



市民参加型広報

- ・表紙 フォトコンテスト受賞作品の掲載
- ・連載記事 大河ドラマ光る君へ、国スポ・障スポ

15日号



施策推進型広報

- ・特集記事 フレイル、ゼロカーボン、防災、予算等

(2) 広報おおつを取り巻く状況

① 広報紙を取り巻く状況

- デジタル化の急速な進展
 - 紙媒体のニーズの低下、デジタル機能の強化
- 広報紙の配布率が低下
 - 未配布の増加
- 紙代・配送費用の高騰（物流2024年問題等）
 - 予算額の増加

② 他都市の状況

▼ 中核市の状況（令和4年度調査、62市）

発行回数	月2回 27%(17市)、月1回 71%(44市)、新聞掲載 2% (1市)
企画	A4判 79%(49市)、タブロイド判 19%(12市)、新聞掲載 2% (1市)
ページ数	A4判の場合 平均24頁/月（発行号で異なるケース有）
配布手法	自治会経由 65%(40市)、ポスティング 32%(20市)、新聞折込 2%(1市)

▼ 滋賀県市町の状況（令和4年度調査、滋賀県及び17市町）

発行回数	月2回は大津市・守山市 その他は1回（県は年4回）
企画	A4判100%
ページ数	平均24頁/月（20～32頁/号 ※発行号によって異なるケース有）
配布手法	自治会経由 61%(11市)、新聞折込 33%(6市)、 ポスティング 6%(1市)

(3) 広報おおつアンケート結果・検証

①アンケートの目的

- 分かりやすく・読みやすい、より良い広報おおつを目指すため
- 広報おおつを取り巻く課題の解決を図るため

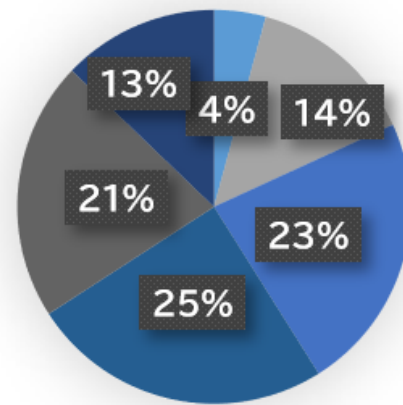
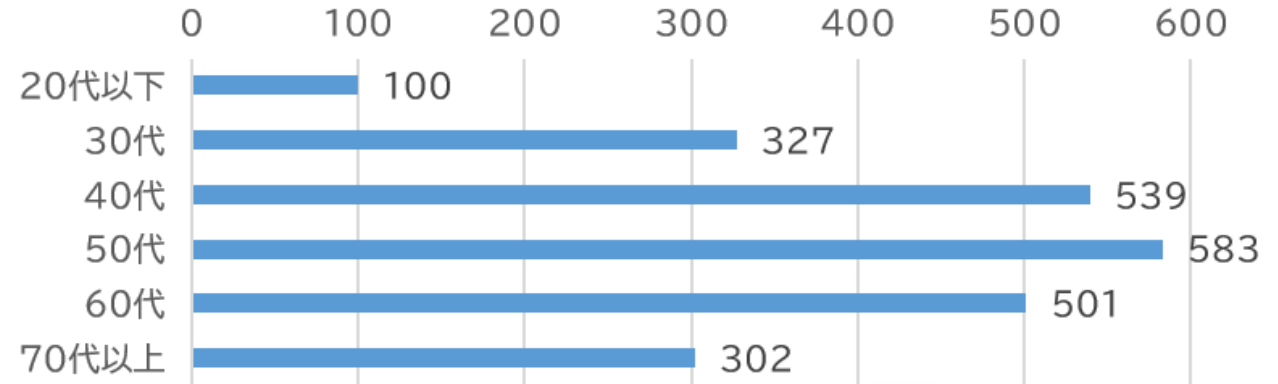
②アンケートの概要

1 調査の目的	各年代における市政情報の入手方法や広報おおつの読みたい分野などを把握し、分析することでより効果的な情報発信のあり方を検証するもの。
2 調査概要	<p>(1)調査期間 令和4年8月8日(月)～9月16日(金)</p> <p>(2)調査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ①大津市公式 LINE でのアンケートを回答 ②LINE で回答できない方は、ホームページにアンケート調査票を掲載し、郵送または FAX、メールで回答 <p>(3)回答の回収</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2,320 件 ② 32 件 <p style="text-align: right;">合計 2,352 件</p>

(3) 広報おおつアンケート結果・検証

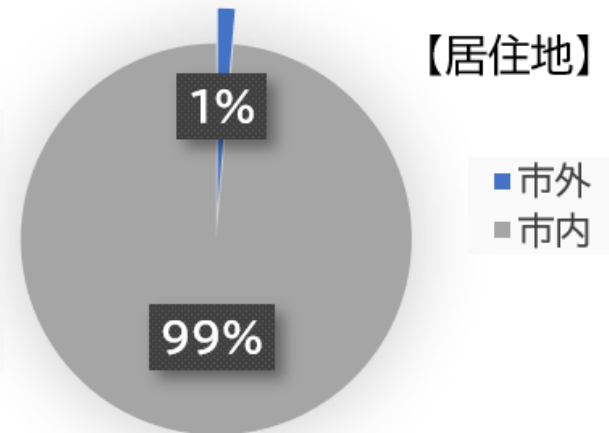
3 調査属性

【年代】



- 20代以下
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上

【居住地】



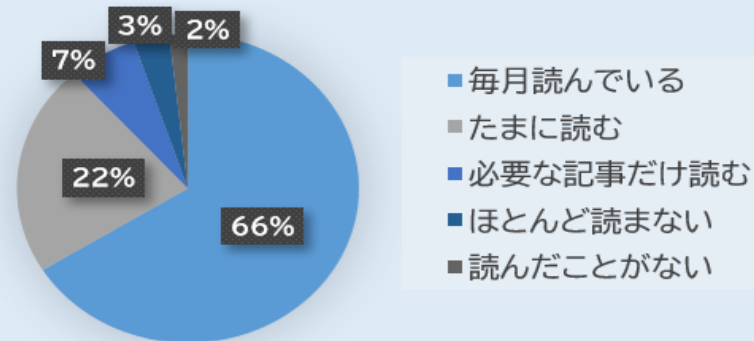
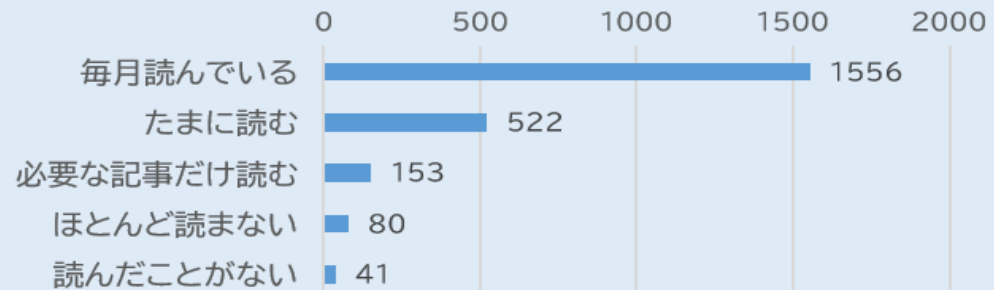
- 市外
- 市内

(3) 広報おおつアンケート結果・検証

③アンケートの集計結果

Q1

大津市の広報紙
「広報おおつ」を
読んだことが
ありますか。

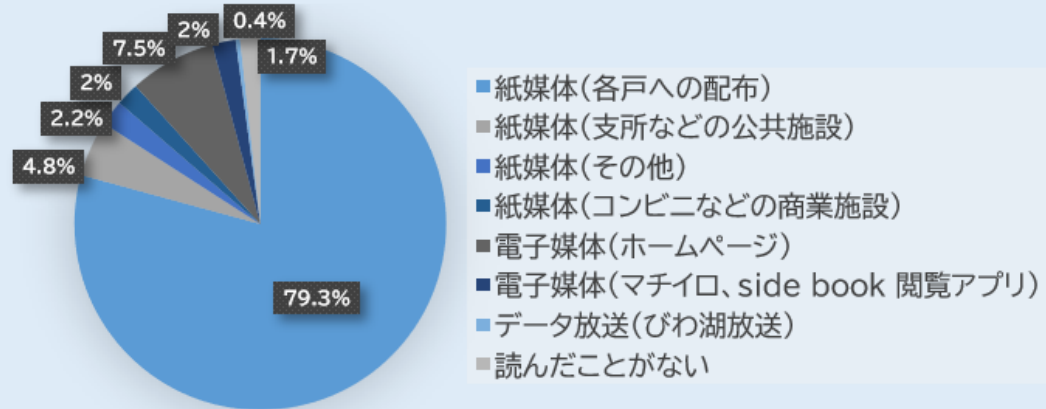
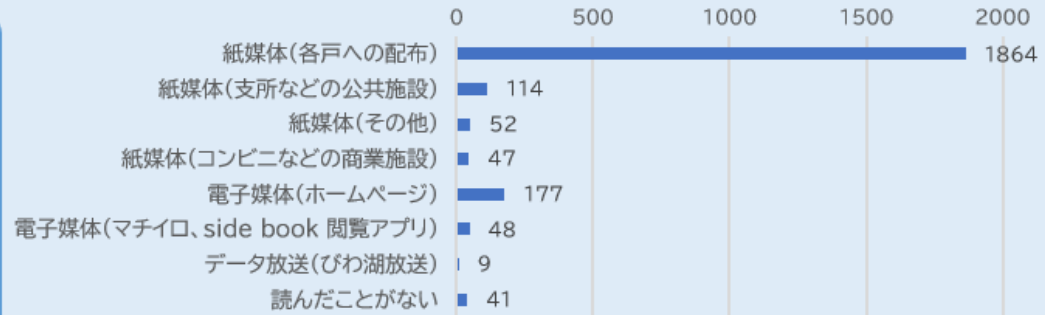


■広報おおつを毎月読んでいる方が約7割(66%)で、「たまに読む」「必要な記事だけ読む」も含めると、約9割(95%)の方が、広報おおつを読んでいただいている。

(3) 広報おおつアンケート結果・検証

Q2

広報紙「広報おおつ」
はどの媒体(入手方法)
で読んでいますか

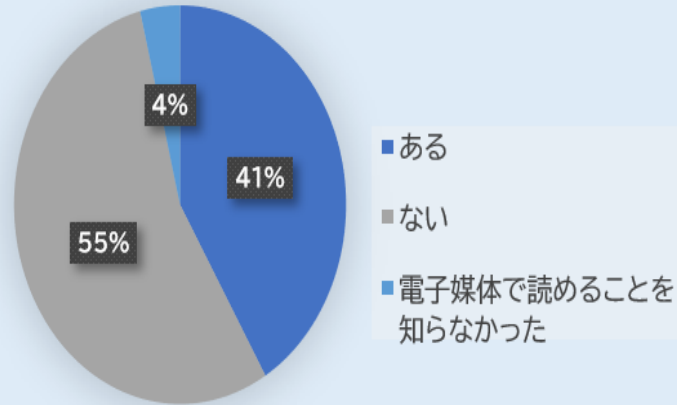


■約 8 割の方が、各戸配布している広報紙で読んでいただいている。紙媒体で読んでいる方の割合が 88%、電子媒体が約 10%、データ放送はほとんど利用がない状況である。

(3) 広報おおつアンケート結果・検証

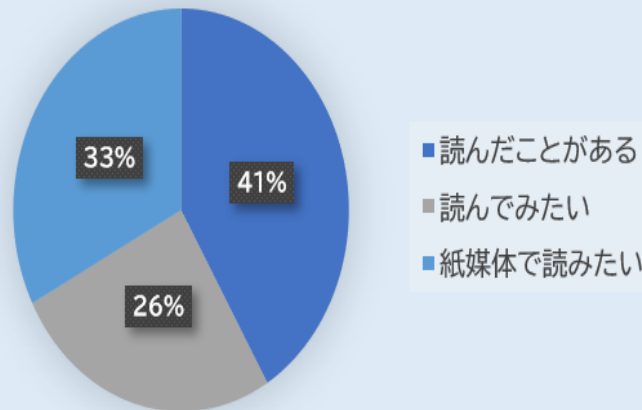
Q3

電子媒体で広報紙「広報おおつ」を読んだことがありますか



Q4

今後パソコンやスマートフォンなどの電子媒体で読みたいですか

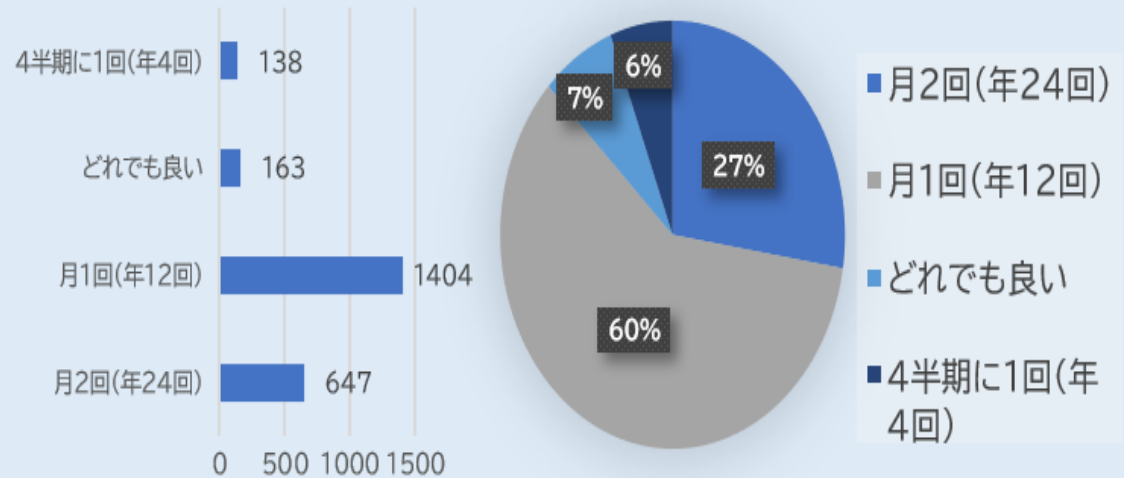


- 電子媒体で広報紙を読んだことがある方は、約40%にとどまり、「読んだことがない」「電子媒体で読めることを知らなかった」は、約60%と半数を超えている。
- 今後、「パソコンやスマートフォンなどの電子媒体で広報紙を読んでもいい」「読んだことがある」も含めると、約70%と半数を大幅に超えた。一方で、「紙媒体で読みたい」も約30%と一定のニーズが存在している。

(3) 広報おおつアンケート結果・検証

Q5

広報紙「広報おおつ」
はどの頻度で発行
するのが良いと思
いますか。

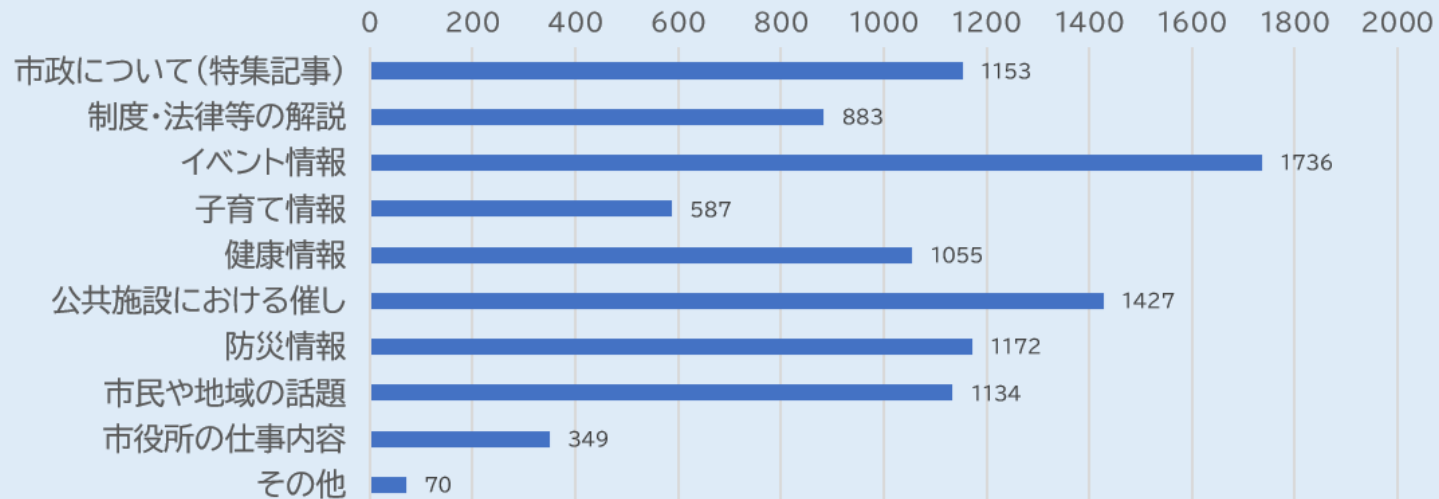


■ 広報おおつの発行頻度は、月に1回の発行で良いという方が6割にも及ぶ。

(3) 広報おおつアンケート結果・検証

Q6

広報紙で読みたいと思う分野はどれですか(複数可)

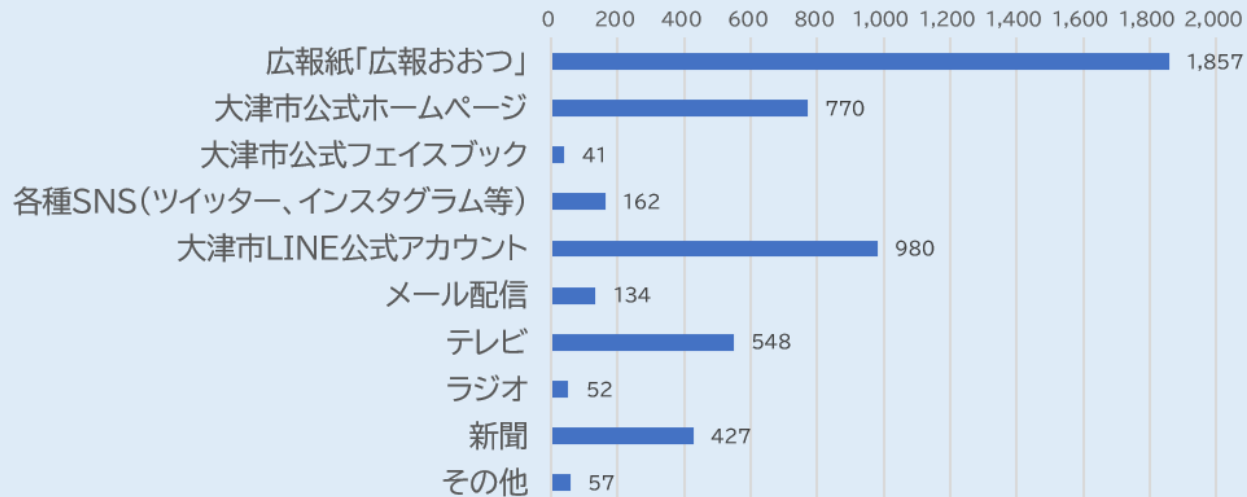


■広報紙で読みたい分野は、イベント情報が最も多く、次に公共施設における催し情報が多かった。それ以降は、防災情報、特集記事、市民や地域の話題の順番で多かった。

(3) 広報おおつアンケート結果・検証

Q7

市政情報はどこから入手していますか(複数可)



■市政情報の入手方法は、「広報おおつ」が約80%と圧倒的に多い。

次に、LINE、大津市公式ホームページの順番が多かった。

(3) 広報おおつアンケート結果・検証

【参考】自由意見

自由意見	人数
①紙媒体の発行について デジタル化して紙媒体は必要な人のみに配布すべき、紙媒体は減らすべき、各戸配布は必要ない など	48
②広報おおつに掲載してほしい情報について	31
③発行回数について (発行回数が多い、月1回など発行回数を減らしてもよい)	21
④配布方法について (自治会経由はやめるべき など)	15
⑤デザイン、レイアウト、フォントサイズ等について	13
⑥紙媒体の必要性について	12
⑦表紙について	8
⑧コロナ関連情報の情報発信について	3

(3) 広報おおつアンケート結果・検証

自由意見

(1) 紙媒体の発行

- ・デジタル化して、紙媒体は必要な人のみに配布すべき
- ・高齢化した自治会役員の負担を減らすため、各戸配布すべき
- ・環境負荷を減らすため、紙媒体がなくなっても良い 費用もかかるし、ゴミも増える
- ・配布するのが大変で、各戸配布は必要ない
- ・紙媒体からWEBに徐々に移行すべき

(2) 広報おおつに掲載してほしい情報

- ・スポーツや地域イベント（祭や店、学校園など）をもっと紹介してほしい
- ・市民交流の場の情報交換できるようなミニネット空間を目指してほしい
- ・文字中心であまり読む気がしない
- ・学区毎とニュース速報を載せると、もっと興味・関心が持たれ、身近なものになる

(3) 発行回数

- ・月2回発行は多過ぎ。自治会の担当者が苦勞している。
- ・月1回など発行回数を減らしてもよい
- ・災害時に電気が使えなくなると電子機器は役に立たず、全面的にペーパーレス化にするのは避けた方が良いが、月2回は多い
- ・WEB版は、適度の更新が必要

(3) 広報おおつアンケート結果・検証

(4) 配布方法

- ・高齢化により自治会の役員負担が大きく、アウトソースや電子化するなど、住人の負担を減らしてほしい
- ・自由に取れるところを増やすべき（公共機関だけでなく、駅、コンビニ、商業施設等）

(5) デザイン、レイアウト、フォントサイズ等

- ・縦書き、横書きを統一した方が見やすい
- ・開く方向は、逆からの方が読みやすい
- ・内容、文章ともに堅苦しく、読む際に何が重要な情報なのかが判断しにくい
- ・広報紙の字を大きくしてほしい

(6) 紙媒体の必要性

- ・デジタル化時代でデジタルから情報も入手できるが、紙媒体の方が情報が入りやすいので残してほしい
- ・高齢者と一緒に暮らしているが、やはりデジタルより紙媒体の方がよい
- ・高齢者は紙媒体に頼りがちで、情報弱者とそうでない人との格差が生まれる
- ・電子媒体からの情報入手が困難な高齢者もあり、紙媒体の情報発信は必要

(3) 広報おおつアンケート結果・検証

広報紙を取り巻く状況、アンケート結果を踏まえて・・・

- 個人のニーズに合わせた情報取得（紙媒体かデジタル）が選択できるよう、紙媒体・デジタルのそれぞれの機能充実を図る必要がある
- 幅広い世代に対して、確実な情報発信を図る必要がある
- デジタルを活用したタイムリーな情報発信を提供していくことが必要である
- デジタルを併用した情報発信を行うことで、紙媒体での発行回数の見直しを検討する必要がある
- より見やすく、分かりやすい広報、「伝わる広報」とするため、紙媒体のデザイン・レイアウトの見直し、企画記事の充実を図る必要がある

 **広報おおつのリニューアルを検討する必要がある**

(4) 広報おおつのリニューアル (案)

① 広報おおつアンケートの結果を踏まえたリニューアルのポイント

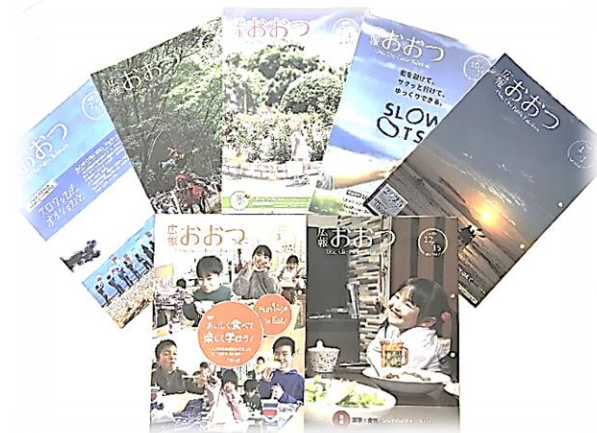
主な指摘事項	検討 (案)
<p>デジタル化して、紙は必要な人のみに配布すべき</p>	<p>デジタル版広報おおつの導入検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 紙媒体とデジタルの両方で、効果的・効率的な情報発信を図る
<p>発行回数を減らしてほしい (理由) ・ 配布の負担が大きい ・ 環境負荷を減らすべき</p>	<p>発行回数の見直し検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 年22回から年12回(月1回)に変更 ※配布手法は自治会を通じた配布
<p>紙面を充実してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツや地域イベント (祭、学校園等) ・ 市民交流の場の情報交換できるネット空間 ・ 学区毎とニュース速報 ・ 文字中心であまり読む気がしない 	<p>紙面 (仕様面・記事の内容面) の見直し検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ デザイン・レイアウトの見直し ➢ 増頁の検討 ➢ 企画記事の充実

(4) 広報おおつのリニューアル (案)

② リニューアルのコンセプト

市民の“こころ”と“からだ”を 「動かす」広報おおつ

- 👉 読みたい記事が探しやすく、内容が分かりやすく、より手に取って読んでもらえるように改善を図り、市政への参画につなげる
- 👉 掲載している情報を、「デジタル版」「紙版」の両方で発信していくことにより、幅広い世代へ確実に情報を届ける
- 👉 特集記事や地域情報を充実させて、市政への関心から参画へ、大津のまちの魅力発信からシビックプライドの醸成につなげる
- 👉 市政情報を単なるお知らせにするのではなく、事業の意義・必要性を分かりやすく、市民が必要と感じる情報を掲載し、詳細な内容はホームページで発信する



「伝わる広報」
をめざして

(4) 広報おおつのリニューアル (案)

③ リニューアルの方向性 (全体)

➤ 幅広い世代で、見やすく分かりやすい広報紙に

- 写真やイラストを効果的に使用し、読んでみたくなる印象的なデザインに
- 多くの人が手にとって読んでみたいと思う紙面に
- 幅広い年代に受け入れられるデザイン、色使い、レイアウトに
- メリハリのある記事構成で、読みやすい紙面に

➤ 必要な情報が探しやすい広報紙に

- 自分に関係のある情報を見つけやすい紙面に

➤ 紙媒体とデジタルで幅広い世代への情報発信

- 紙媒体とデジタルの両方を活用し、誰もが市政情報を入手しやすい環境を図る
- デジタルでは、容易に市政への参画ができるよう、市ホームページ、各種SNSとの連携を図る



広報の目的と
ターゲットに即した
最善の情報発信の
あり方を検討

(4) 広報おおつのリニューアル (案)

④ リニューアルの方向性 (記事の内容面)

➤ 市政情報の集約媒体の役割を果たす

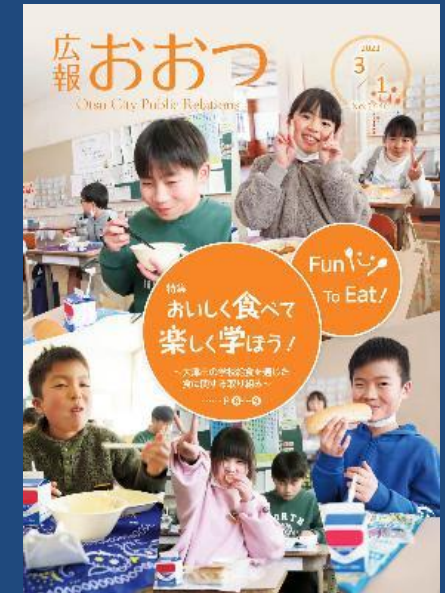
- 市政の政策的な施策を積極的に配信し、本市の取組の方向性を正しく伝える
- 幅広い情報を市民目線で伝える
- 紙媒体とデジタルの両方で情報発信を行うことで幅広い世代にアプローチし、確実に情報を届ける

➤ 大津市の魅力発信・共有を図る

- 大津市にあるたくさんのポテンシャルを紹介する
- 市民参加型の広報紙づくりでシビックプライドを醸成する

➤ 市民参画への意欲向上を図る

- 情報発信をきっかけに、市民・団体・事業者の行動の喚起につなげる



市政情報の発信と
地域と市の魅力を
伝える戦略的な
広報を検討

(4) 広報おおつのリニューアル (案)

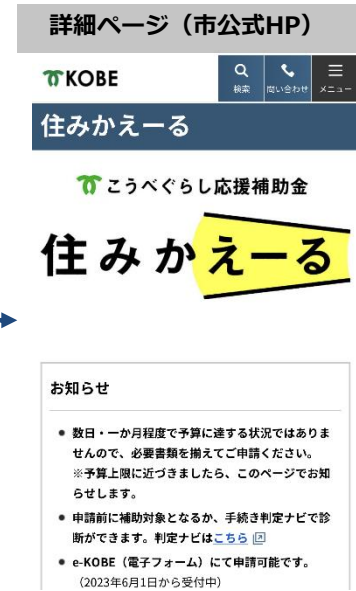
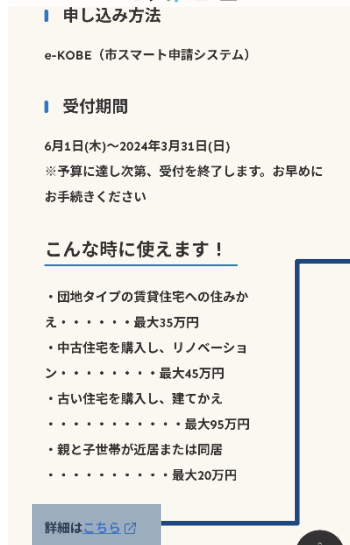
⑤ デジタル版広報紙 (イメージ)

➤ 現 状

- ・ デジタルブック
- ・ PDF

➤ デジタル版 (イメージ)

- ・ 広報おおつの専用ウェブサイトで記事ごとに閲覧が可能
- ・ 記事ごとに各種SNSでの拡散が可能



※紙媒体と同じ情報が、
パソコンやスマホで見れる。

※デジタル版サイトから詳細ページへの誘導をし、申請や申込まで可能にする。

(4) 広報おおつのリニューアル (案)

⑥今後の予定

令和5年度予算で、下記の検討を行う。

広報おおつリニューアルに伴う紙面デザイン及びデジタル版構築の検討

(予算額：4,000千円 プロポーザルにより業務委託事業者を決定)

【業務内容】

- ・他都市の事例調査
- ・紙面デザイン・レイアウト等の構築
- ・デジタル版サイトの構築・実証実験

【スケジュール】 (予定)

令和5年6月通常会議	市議会総務常任委員会で説明
8月	市自治連合会で説明
7月～9月	プロポーザル募集・事業者決定・契約締結
令和6年度	紙媒体広報おおつのリニューアル